



記事を読んで、問いに答えましょう。

**解答例**

2020年10月24日朝刊

補修が始まった首里城の大龍柱＝23日午前、那覇市



## 「大龍柱」の補修開始

### 首里城火災1年「見せる復興」

昨年10月末の那覇市の首里城火災で焼け跡に残り、一對の竜をかたどった「大龍柱（だいきりゅうちゅう）」の補修が23日、始まった。来訪者はプレハブ小屋の窓越しに修復過程を見学できる。31日で火災から1年。内閣府沖縄総合事務局などは「見せる復興」を進めていく。

大龍柱は高さ約3.1m。焼失した正殿

の跡地前から今年9月下旬に取り外され、焼損した奉神門（ほうしんもん）前の広場に設置した小屋に移された。作業員らはこの日、剥がれた部分を接着させる樹脂を注入するためドリルで穴を開けたり、注入後にステンレス棒を挿してつなぎ合わせたりした。

11月中旬までに修復を終え、首里城復元の際に新たにつくる大龍柱の見本とする。2022～23年ごろまで城内で展示する。どちらも亀裂が貫通して三つに分かれており、目視で確認できるだけで約160カ所のひびが見つかった。

①「大龍柱」の補修が始まったのは、何市のどこですか。

( **那覇** )市の( **首里城** )

②補修をしなければならない理由は何ですか。

( **昨年10月の火災(で焼け跡に残った。)** )

③「見せる復興」とは、どのようなことですか。記事を参考にして書きましょう。

( **(例) 来訪者が修復過程を見学できるようにすること。** )

④この記事を読んだ沖縄県の人たちはどのような感想をもったと思いますか。あなたの考えを20字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

**(例) 実際の復興が始まった感じがしてうれしい。(20字)**  
**早く首里城の復元ができるといいな。(17字) など**

年 組 名前